YUTAKA
Clean for the Future



2010年3月期
決算説明会

2010年5月11日
株式会社ユタカ技研

ご説明内容

Ⅰ．2010年3月期 決算概況

Ⅱ．2011年3月期 見通し

Ⅲ．その他 事業状況

2010年3月期

決算概況

10年3月期決算概況 ＜連結＞

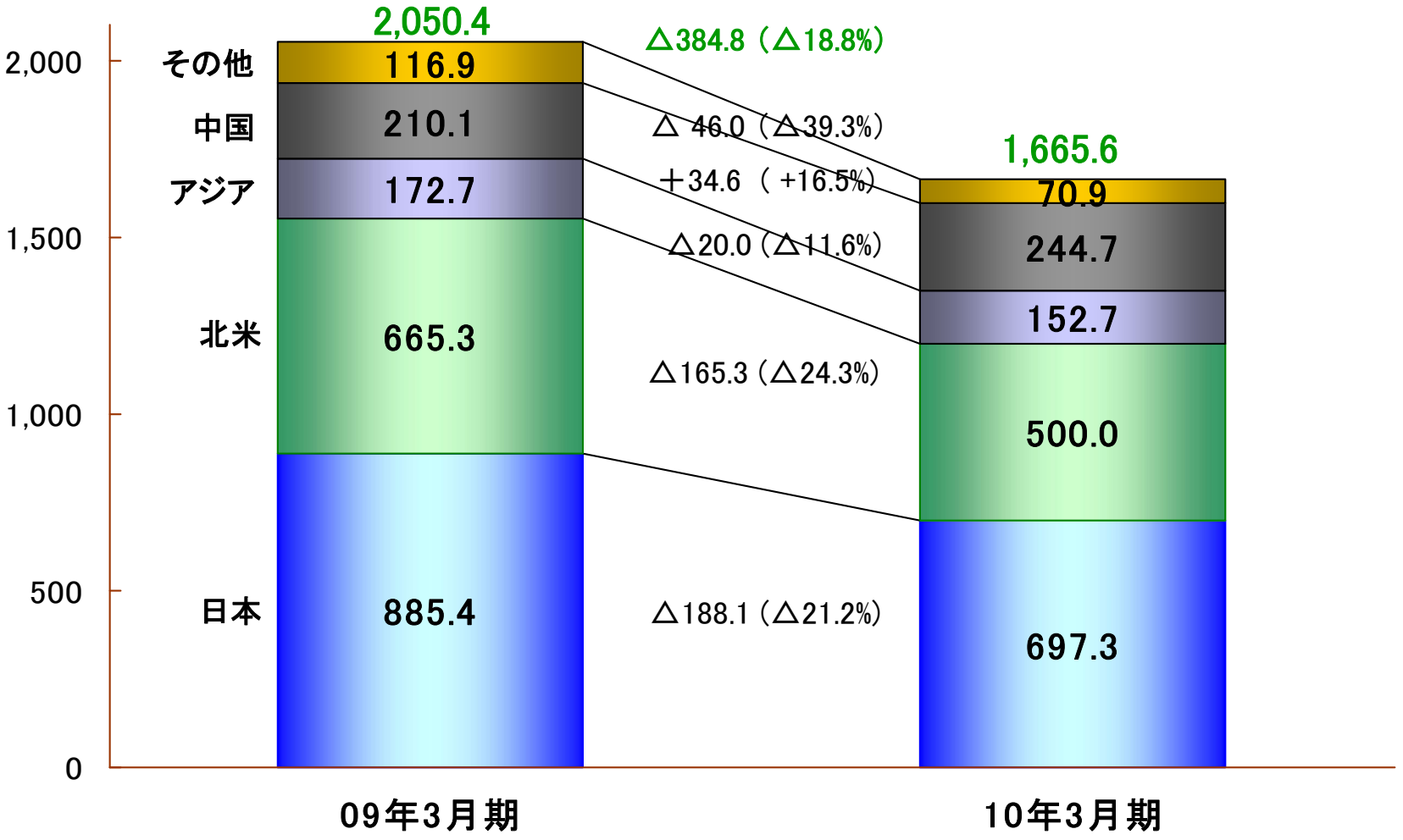
（単位：億円）

	09年 3月期	10年 3月期	増　減　率
売　上　高	2,050.4	1,665.6	△18.8%
営　業　利　益	36.3	68.5	88.7%
経　常　利　益	27.9	66.0	136.2%
当　期　純　利　益	0.4 ＊法人税等調整額　7.5含む	39.2 ＊法人税等調整額 △0.7含む	－
1　株　当　り 当　期　純　利　益	3.09円	264.63円	－
1株当り配当金	30.0円 ＊中間 19円，期末 11円	30.0円 ＊中間 11円，期末 19円	－
	($1=¥100.71)	($1=¥92.89)	

減収ながら生産体質強化施策と固定費削減で増益

10年3月期決算概況 ＜連結＞ 地域別売上高

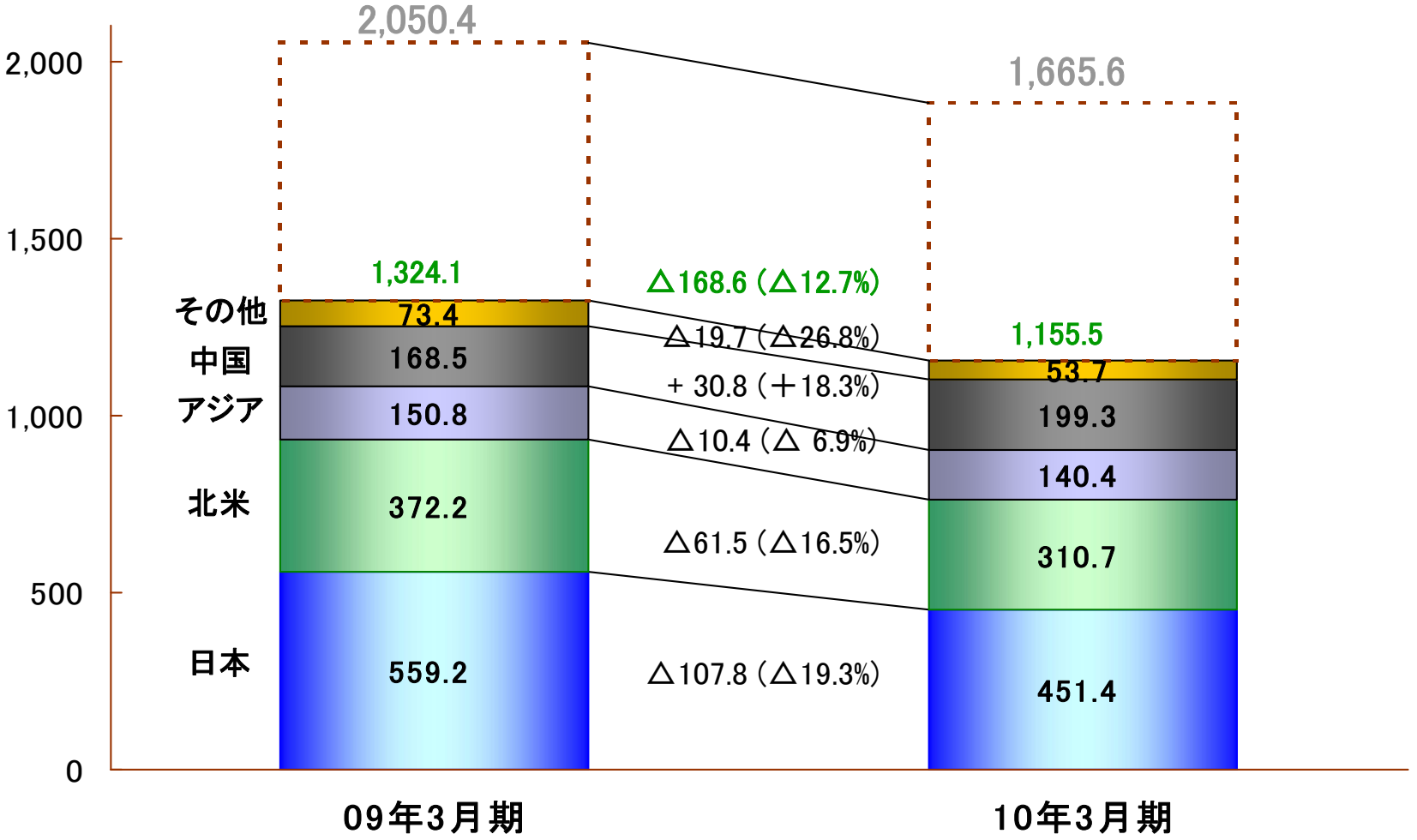
（単位：億円）



中国を除く地域で減収

10年3月期決算概況〈連結〉地域別売上高（キャタリスト抜き）

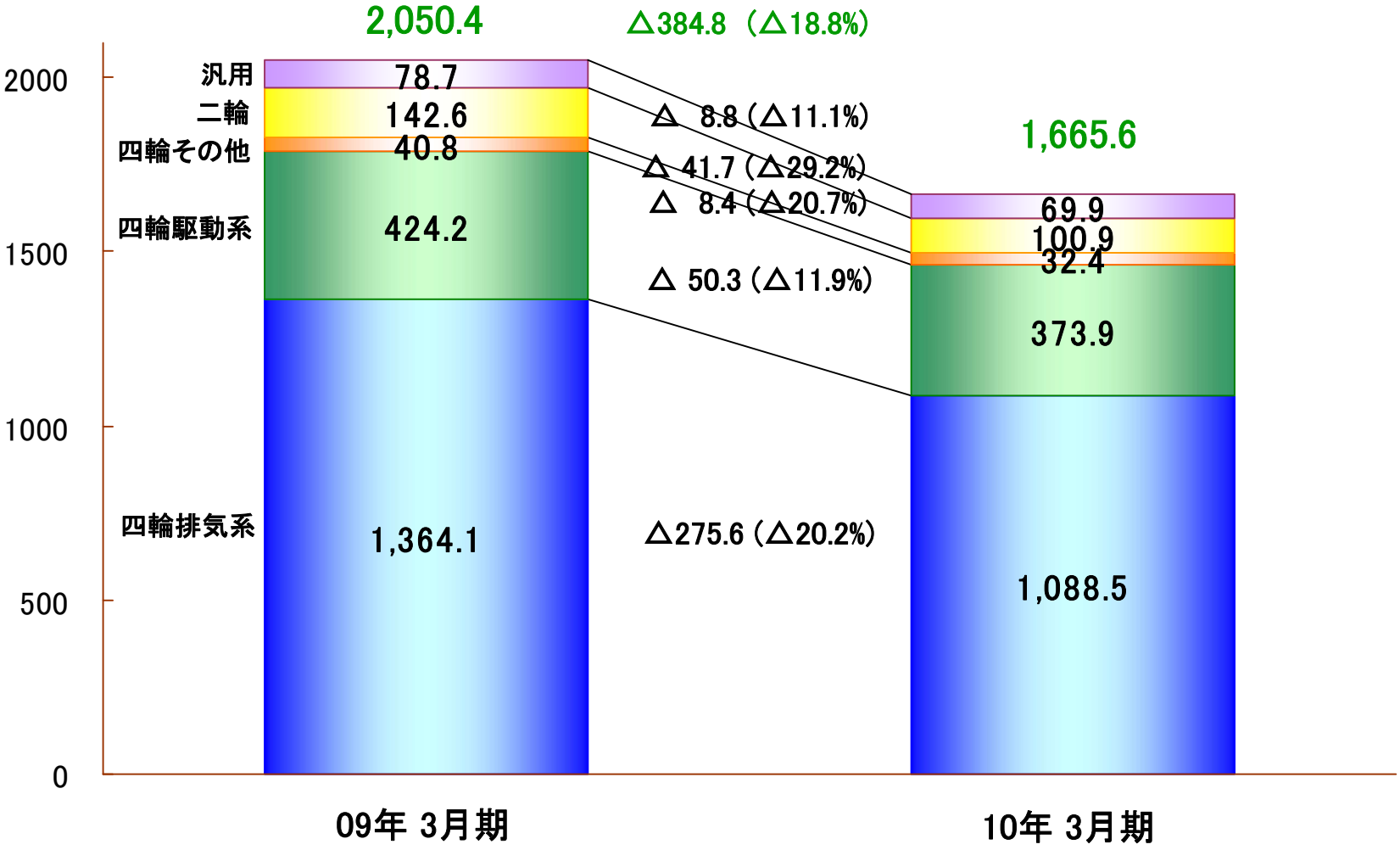
（単位：億円）



キャタリスト抜きでも中国を除く地域で減収

10年3月期決算概況 ＜連結＞　製品別売上高

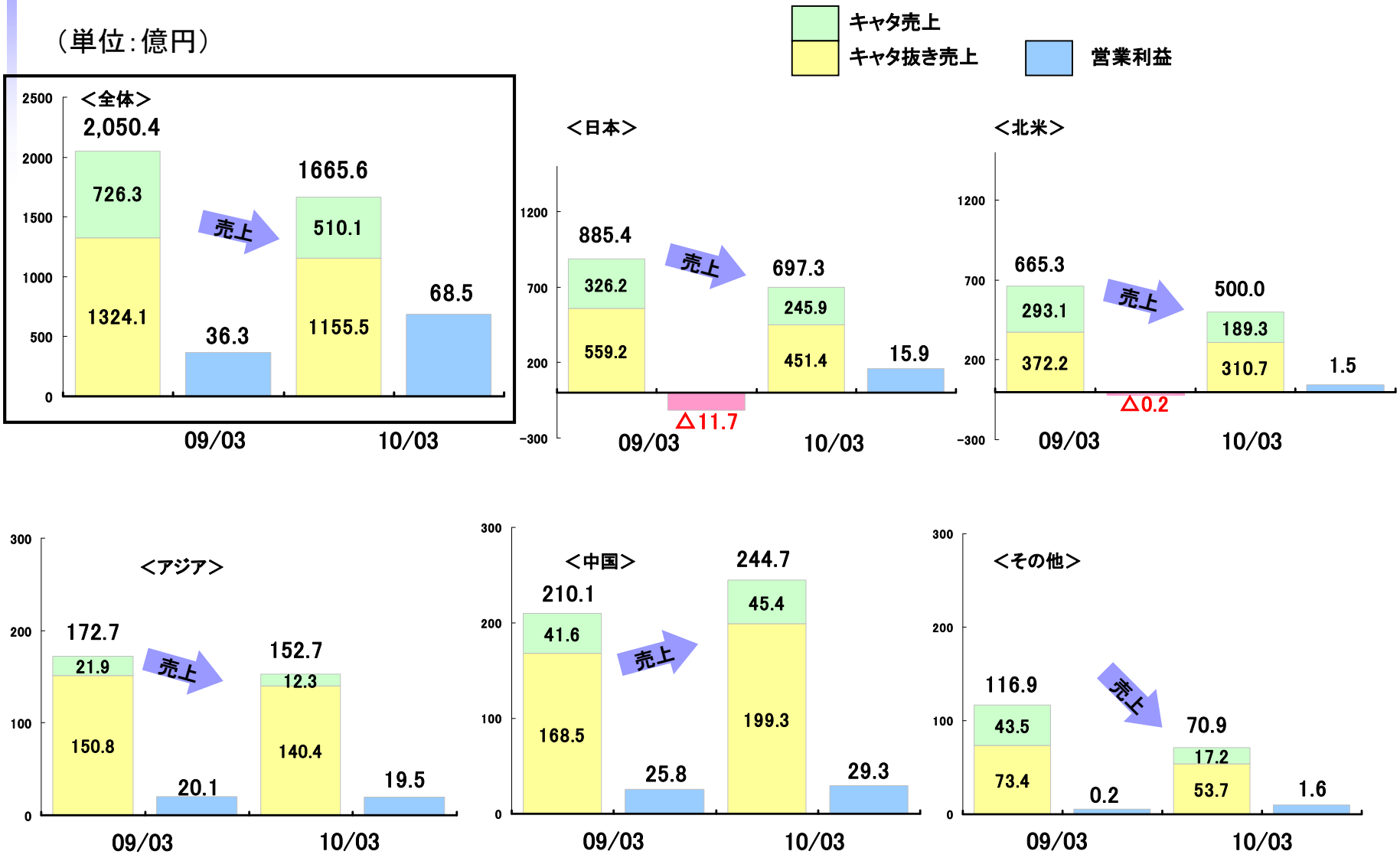
（単位：億円）



売上高はすべての製品で減収

10年3月期決算概況 ＜連結＞ 地域別営業利益

（単位：億円）



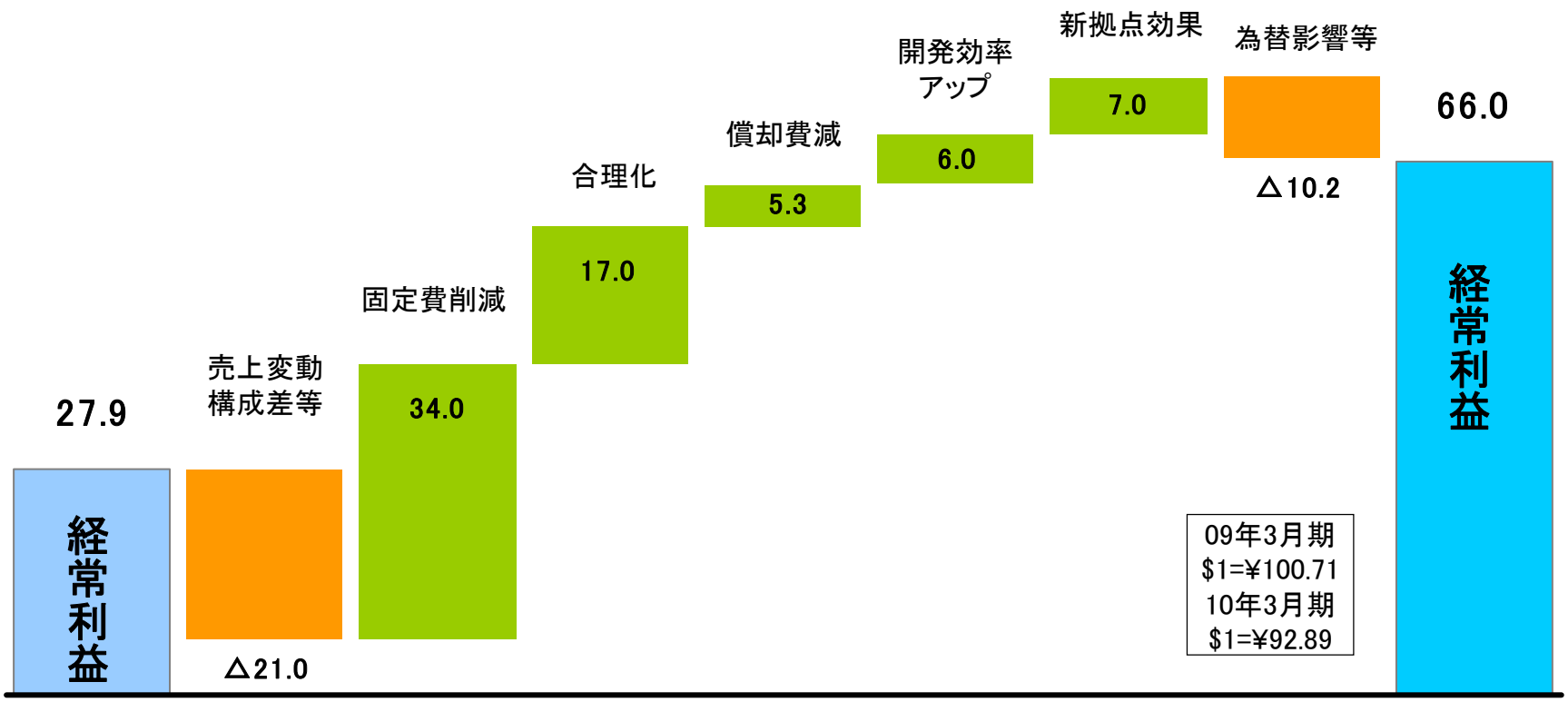
全ての地域で黒字化、アジアを除く地域で増益（アジアは為替影響）

10年3月期決算概況＜連結＞経常利益 増減要因

（単位：億円）

売上高：2,050億円

売上高：1,665億円



09年 3月期

10年 3月期

売上変動ならびに為替影響を、合理化効果,固定費削減等でカバーし増益

2011年3月期

見通し

11年3月期見通し ＜連結＞

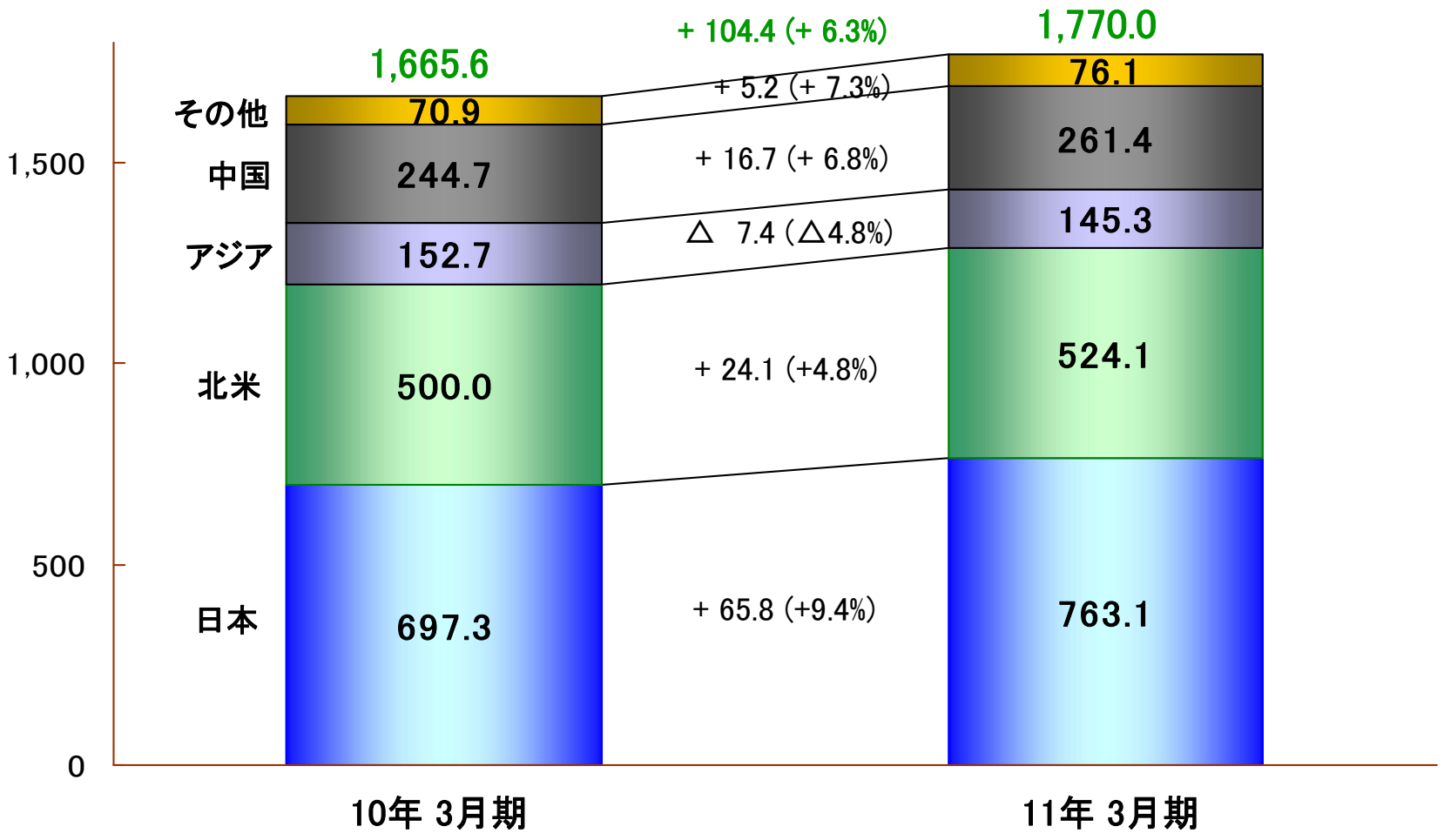
（単位：億円）

	10年 3月期	11年 3月期	増　減　率
売　上　高	1,665.6	1,770.0	6.3%
営　業　利　益	68.5	78.0	13.7%
経　常　利　益	66.0	75.0	13.5%
当　期　純　利　益	39.2 ＊法人税等調整額 △0.7含む	40.0 ＊法人税等　+2.9含む	2.0%
1　株　当　り 当　期　純　利　益	264.63円	269.93円	5.3円
1株当り配当金	30.0円 ＊中間 11円，期末 19円	30.0円 ＊中間 15円，期末 15円	－
	($1=¥92.89)	($1=¥90.00)	

増収増益を見込む

11年3月期見通し ＜連結＞　地域別売上高

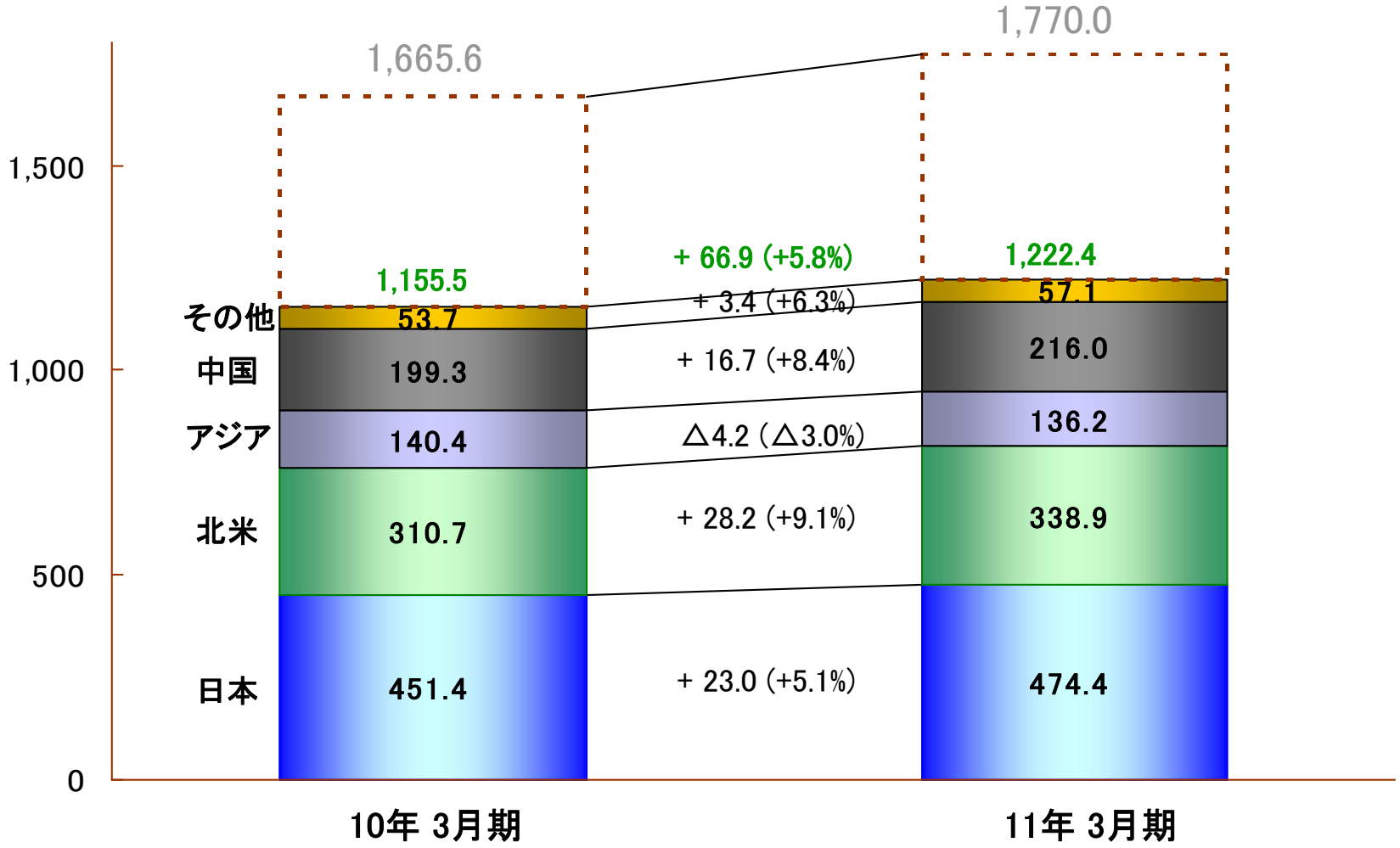
（単位：億円）



アジアを除く地域で増収（アジアは為替影響等で減）

11年3月期見通し〈連結〉地域別売上高（キャタリスト抜き）

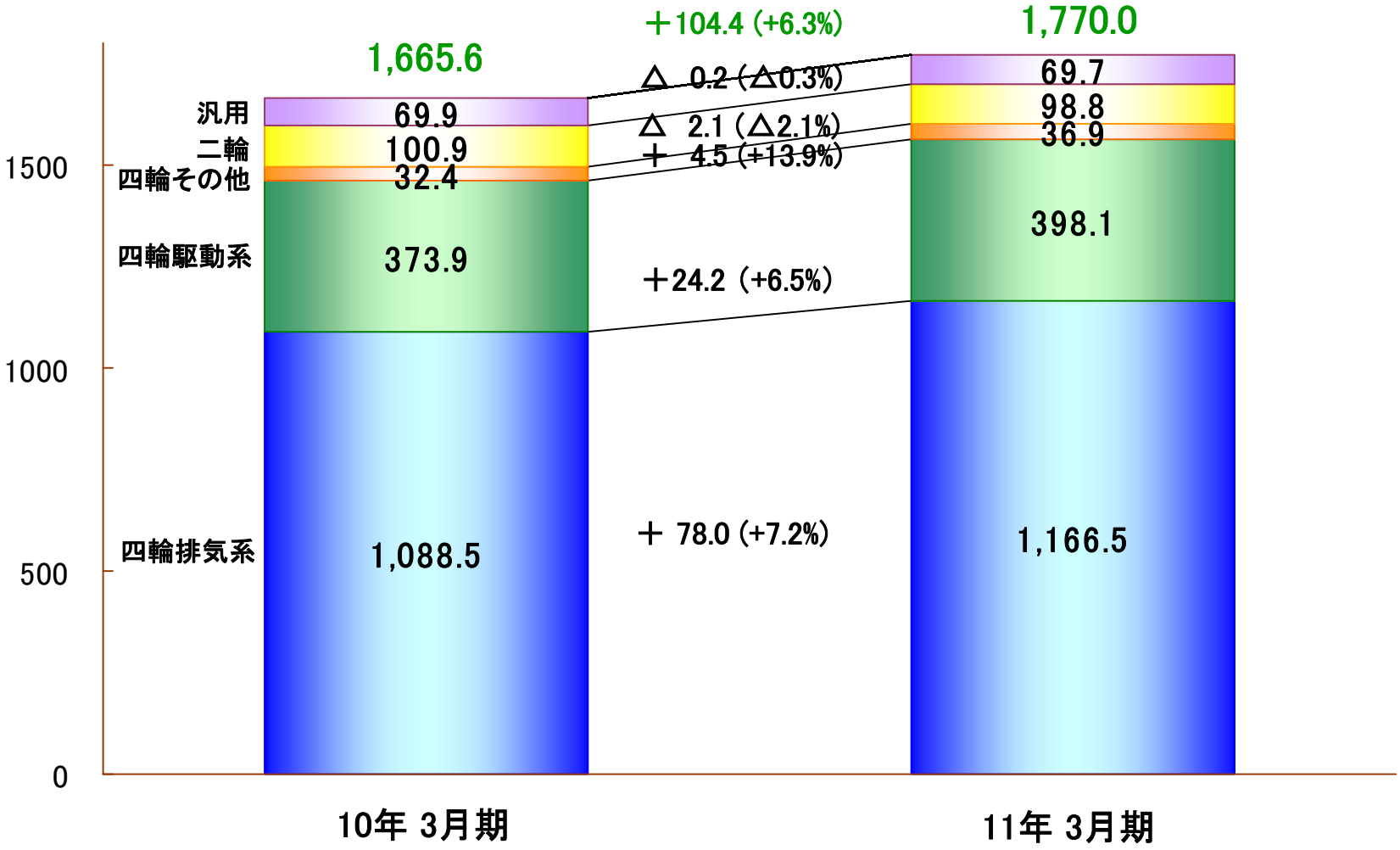
（単位：億円）



キャタリスト抜きでも同様にアジアを除き増収

11年3月期見通し ＜連結＞ 製品別売上高

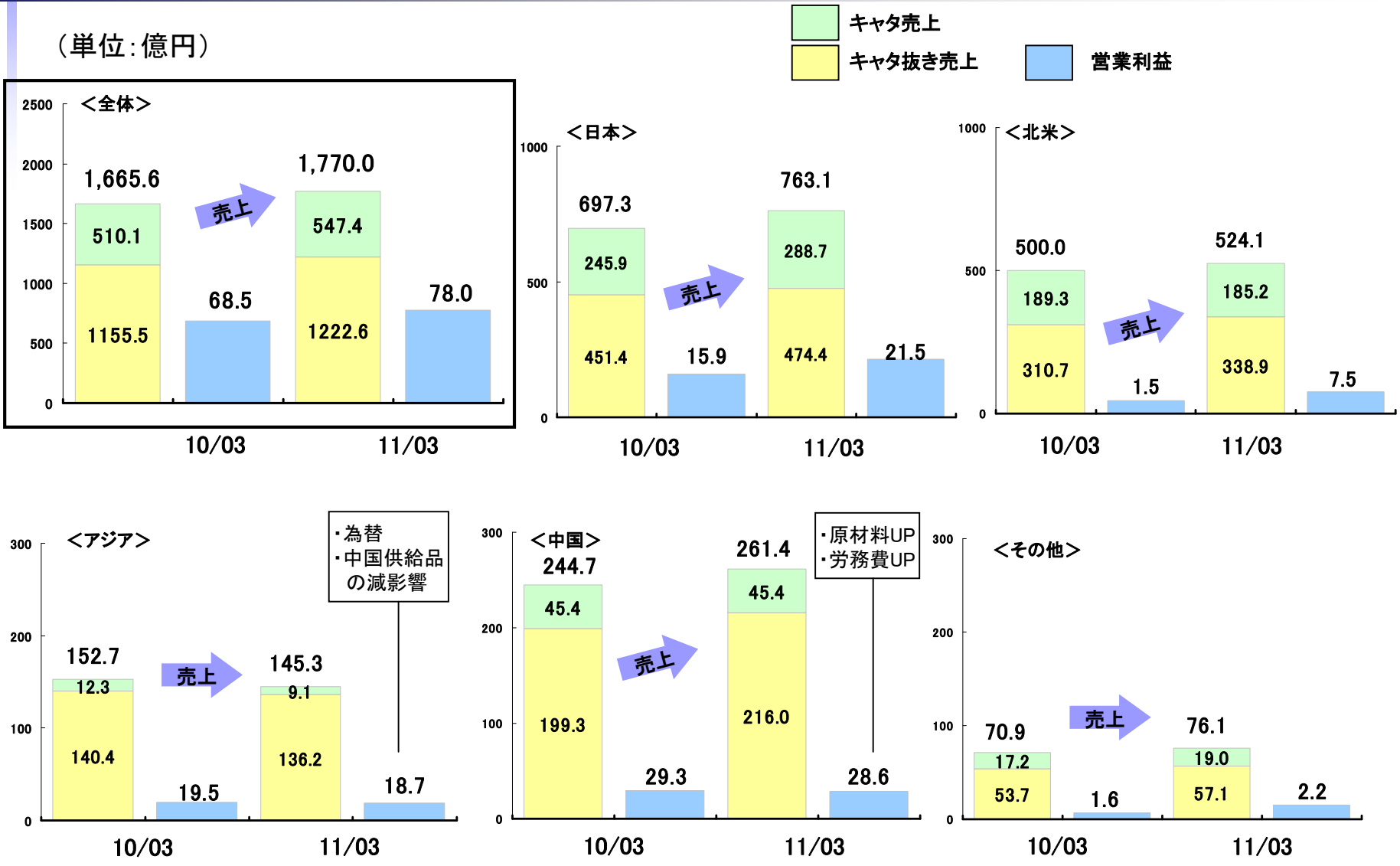
（単位：億円）



四輪部品の復調により売上高は増収

11年3月期見通し ＜連結＞ 地域別営業利益

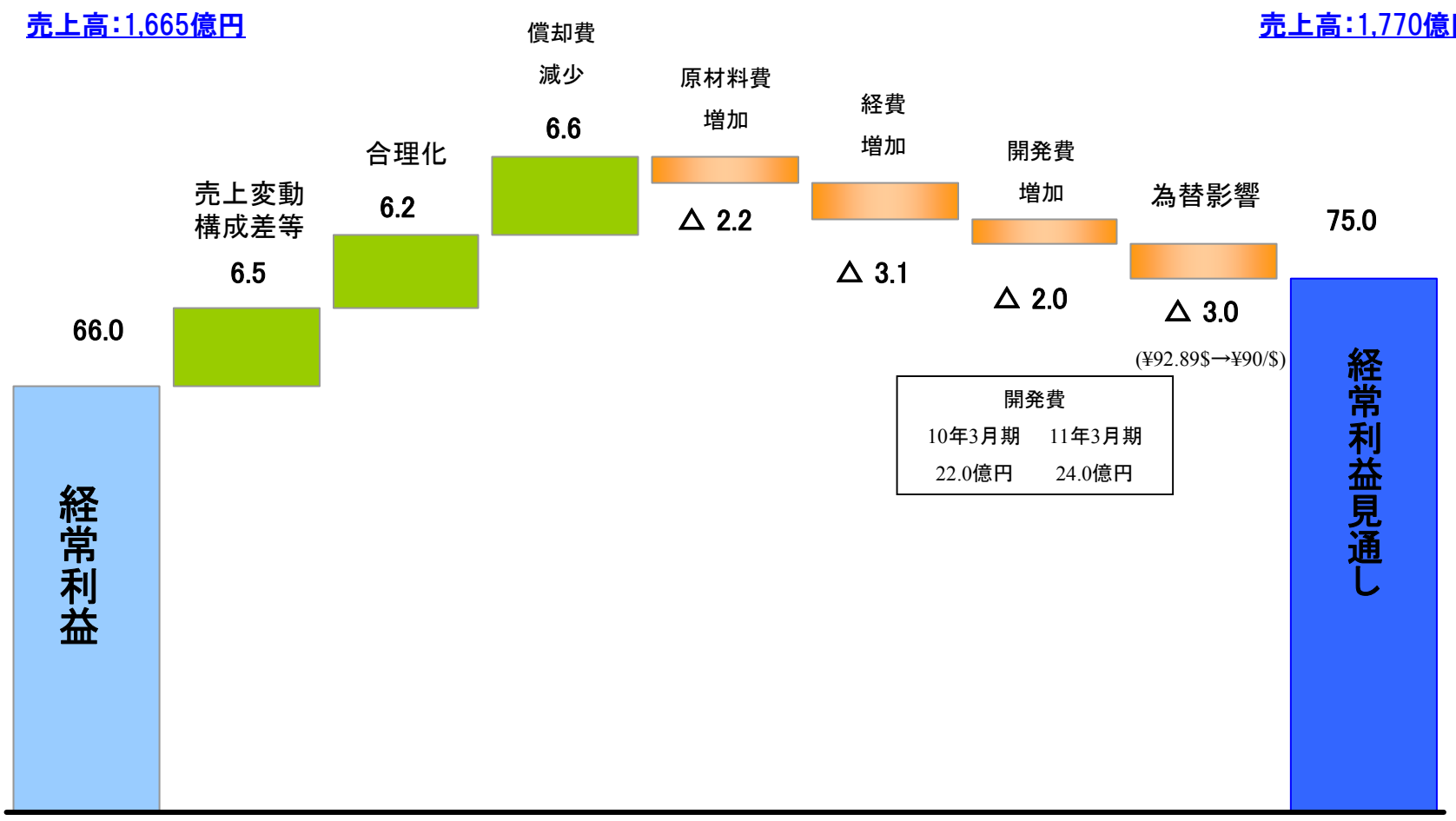
（単位：億円）



日本と北米で売上回復

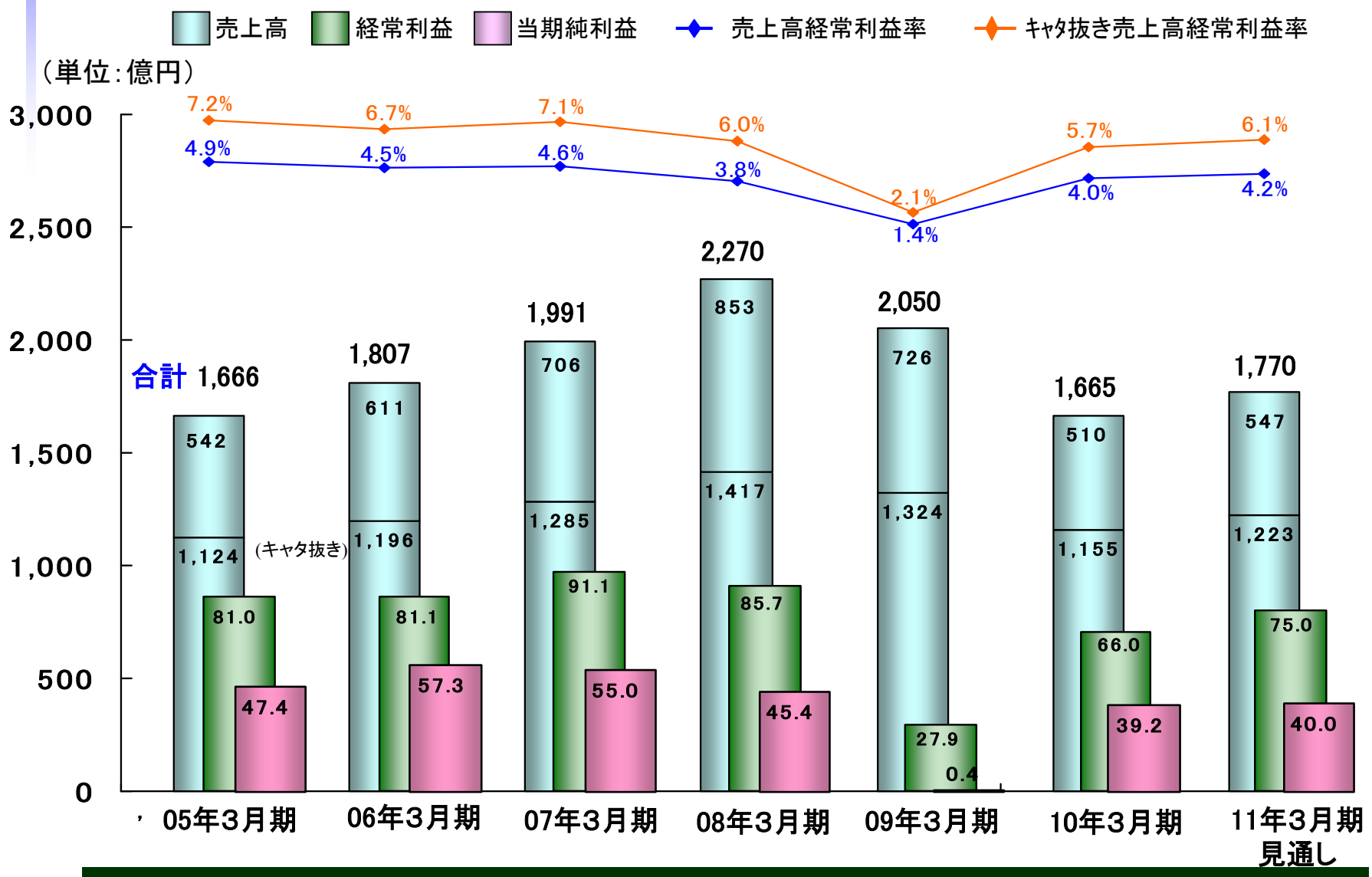
11年3月期見通し ＜連結＞　経常利益 増減要因

（単位：億円）



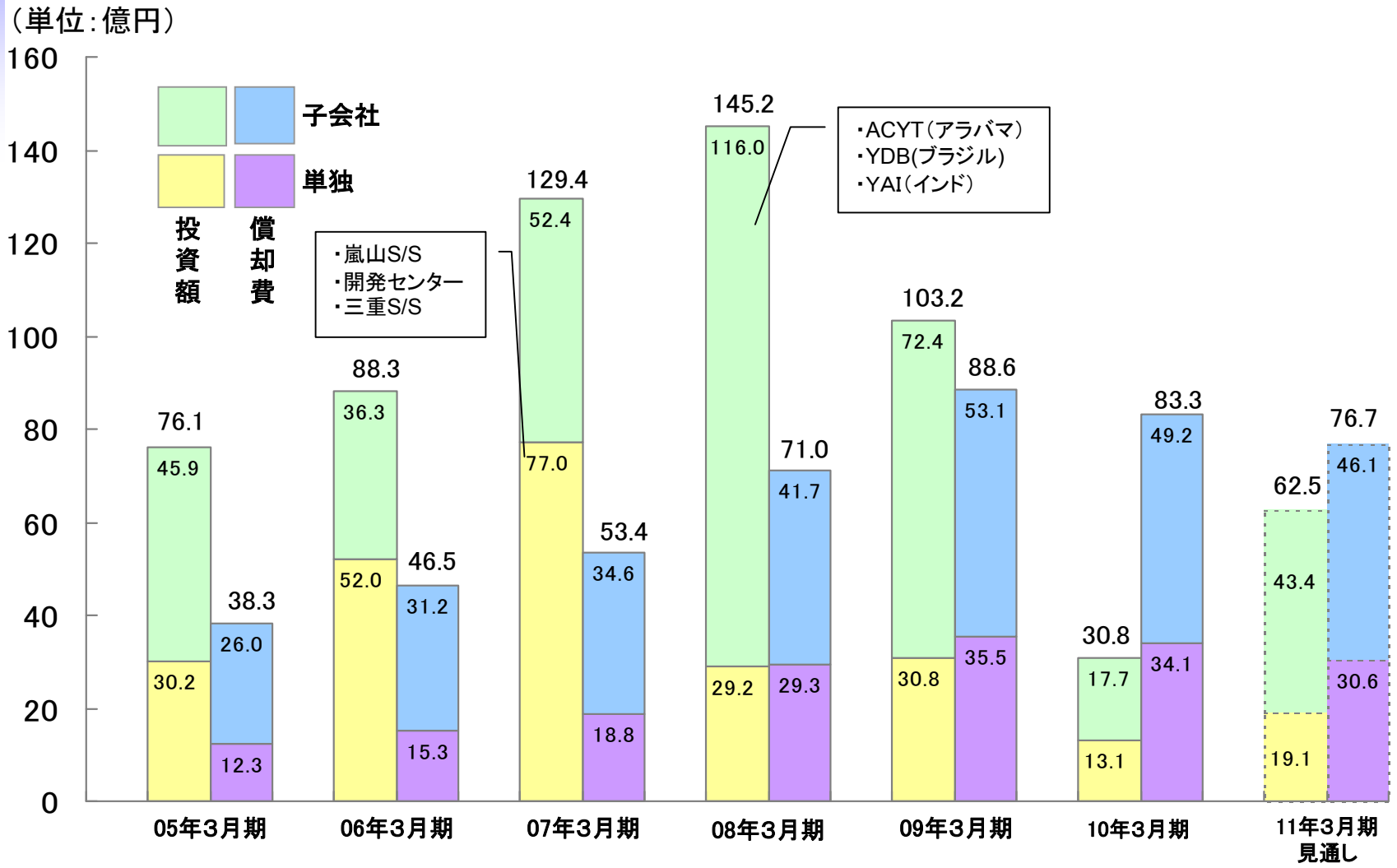
前期に構築した生産合理化を更に進めて増益の見通し

11年3月期見通し ＜連結＞ 売上及び利益の推移



増収増益の見通し、売上高経常利益率もUP

11年3月期見通し ＜連結＞　設備投資額の推移

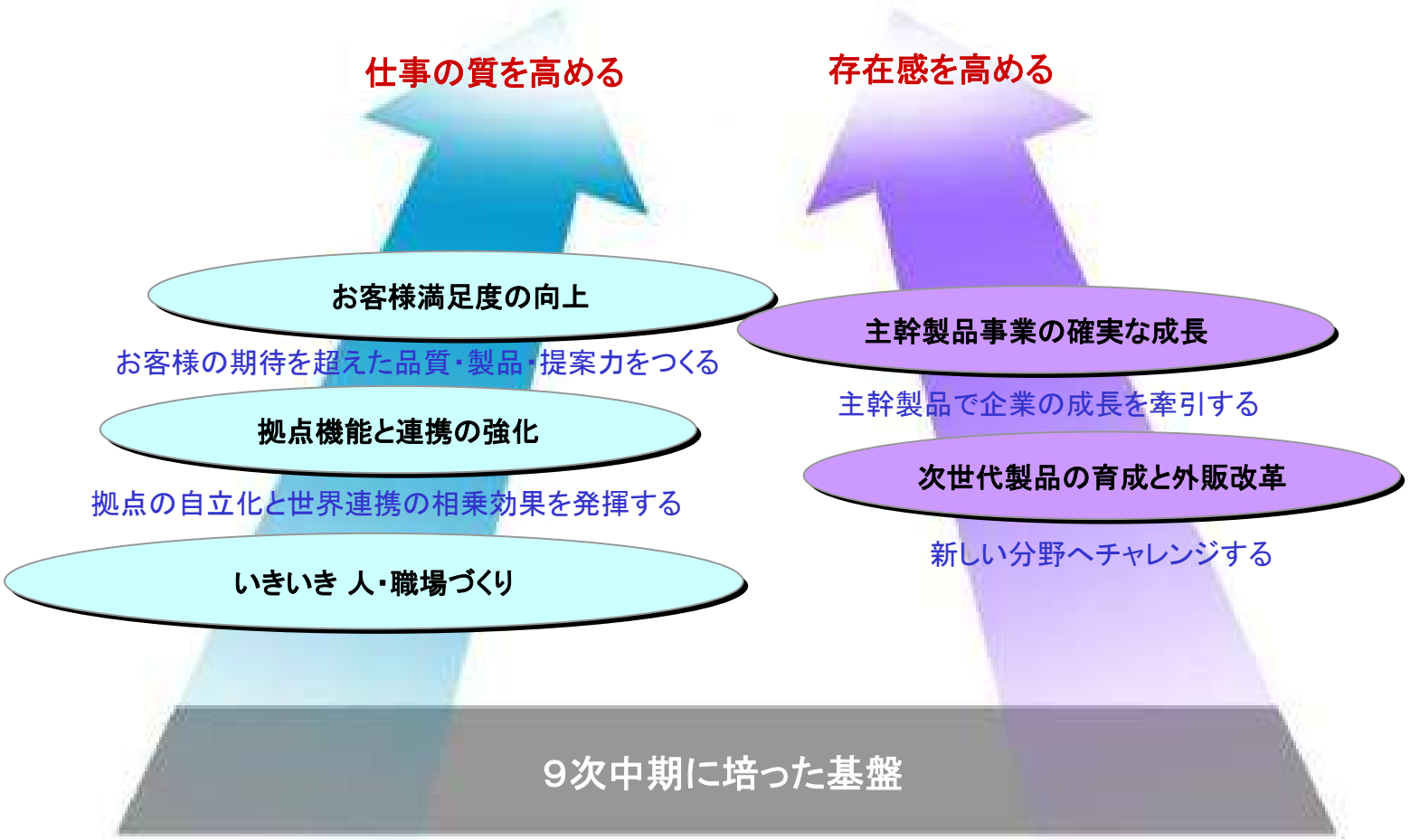


新機種投資、効果大の合理化投資を実施

その他 事業状況

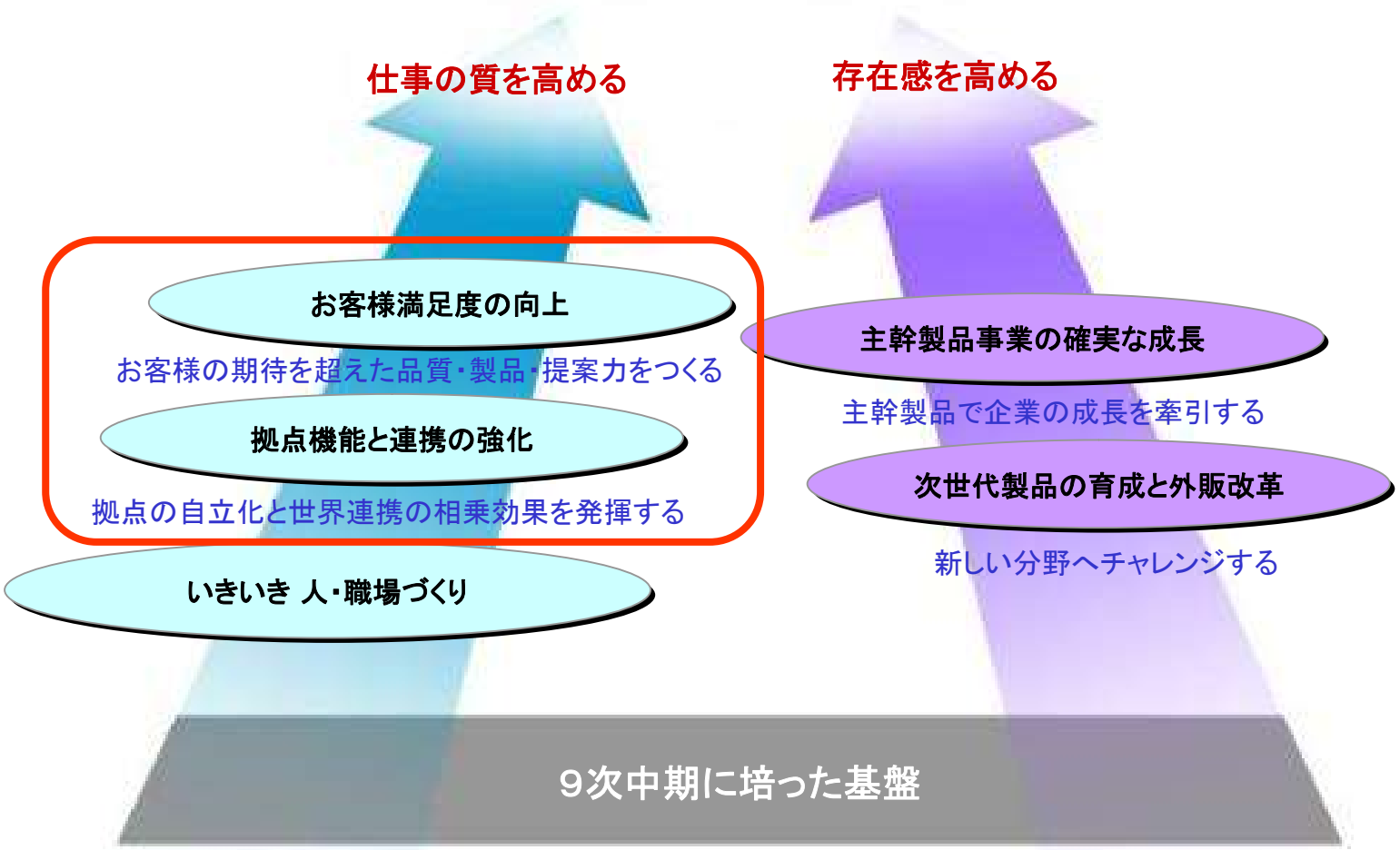
10次中期戦略（2008-2010年度）

- 世界の各地域において、他社をリードする競争優位性を持つ
- 培ってきた基盤を最大限に活かし、世界各地でお客さまに貢献する



10次中期戦略（2008-2010年度）

- 世界の各地域において、他社をリードする競争優位性を持つ
- 培ってきた基盤を最大限に活かし、世界各地でお客さまに貢献する



Yutakaの取組みの紹介①

＜グローバル品質展開＞　～拠点の自立化と世界連携の相乗効果を発揮～

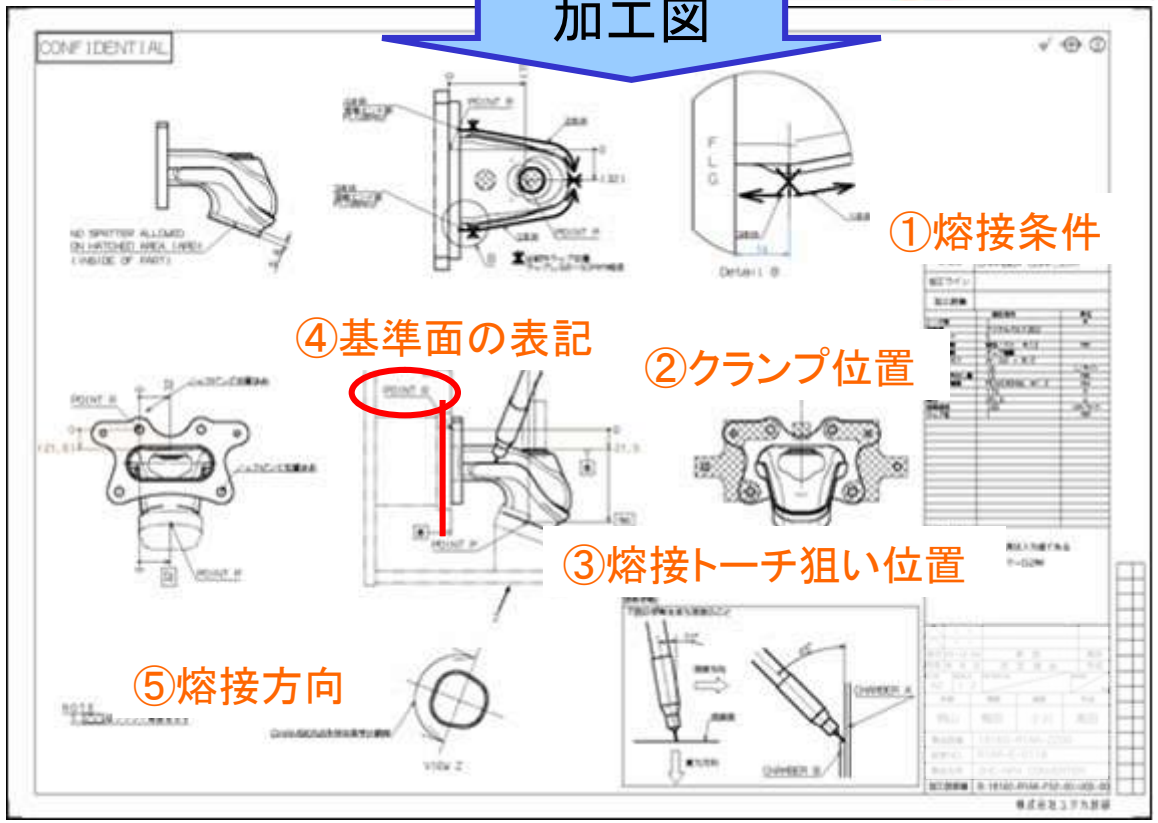
加工図面で基準・条件を統一し世界同一品質を実現する

基準・条件

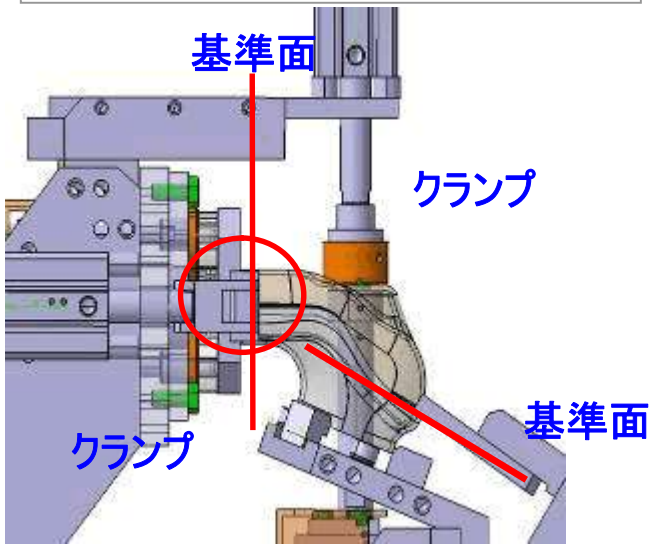
①熔接条件
②クランプ位置
③熔接トーチ狙い位置
④基準面の表記
⑤熔接方向

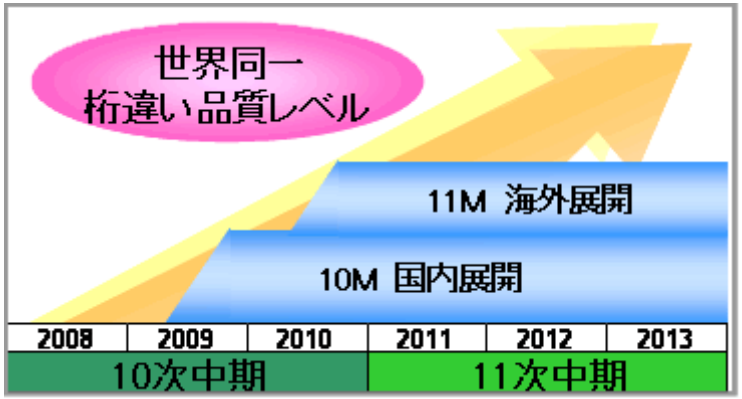


加工図



加工基準を量産治具に反映





10次中期戦略（2008-2010年度）

- 世界の各地域において、他社をリードする競争優位性を持つ
- 培ってきた基盤を最大限に活かし、世界各地でお客さまに貢献する



Yutakaの取組みの紹介②

＜専門分科会活動の取り組み＞　～人材育成（いきいき　人・職場づくり）～

技能・技術力の向上を求め積極的に人材育成に取り組む

Yutakaが求めるありたい人材像

「活き活き」と日々行動し、
グローバルに活躍できる人材

高く、幅の広い技能・技術や知識を
身につけたエキスパートが
様々な拠点や部門で活躍

分科会の活性化

専門性/OJTﾏｯﾌﾟﾚﾍﾞﾙ向上を軸に
ﾁｬﾚﾝｼﾞ意欲向上

＜14の専門分科会＞

プレス	熔接	機械加工	表面処理	組立	設備保全	システム	経理	人事総務	営業	調達	生産管理	品質	開発

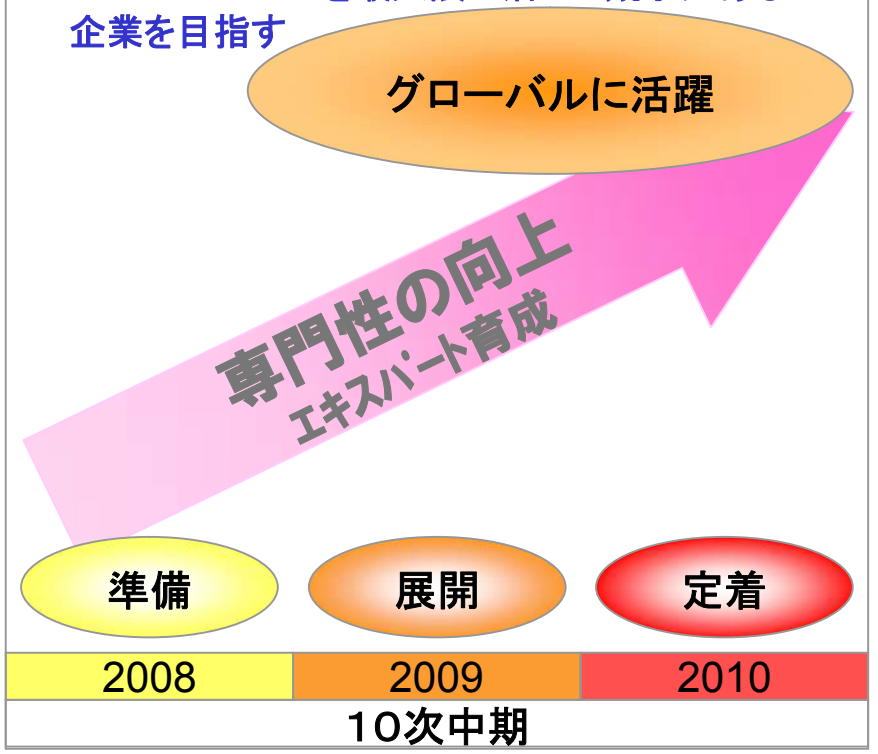
・国内全従業員が専門分科会に登録

・給与/評価ｼｽﾃﾑと連動した新OJTﾏｯﾌﾟを活用し、
ﾁｬﾚﾝｼﾞ目標設定

・上司との2WAYｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝで実績を相互確認し
次の目標設定

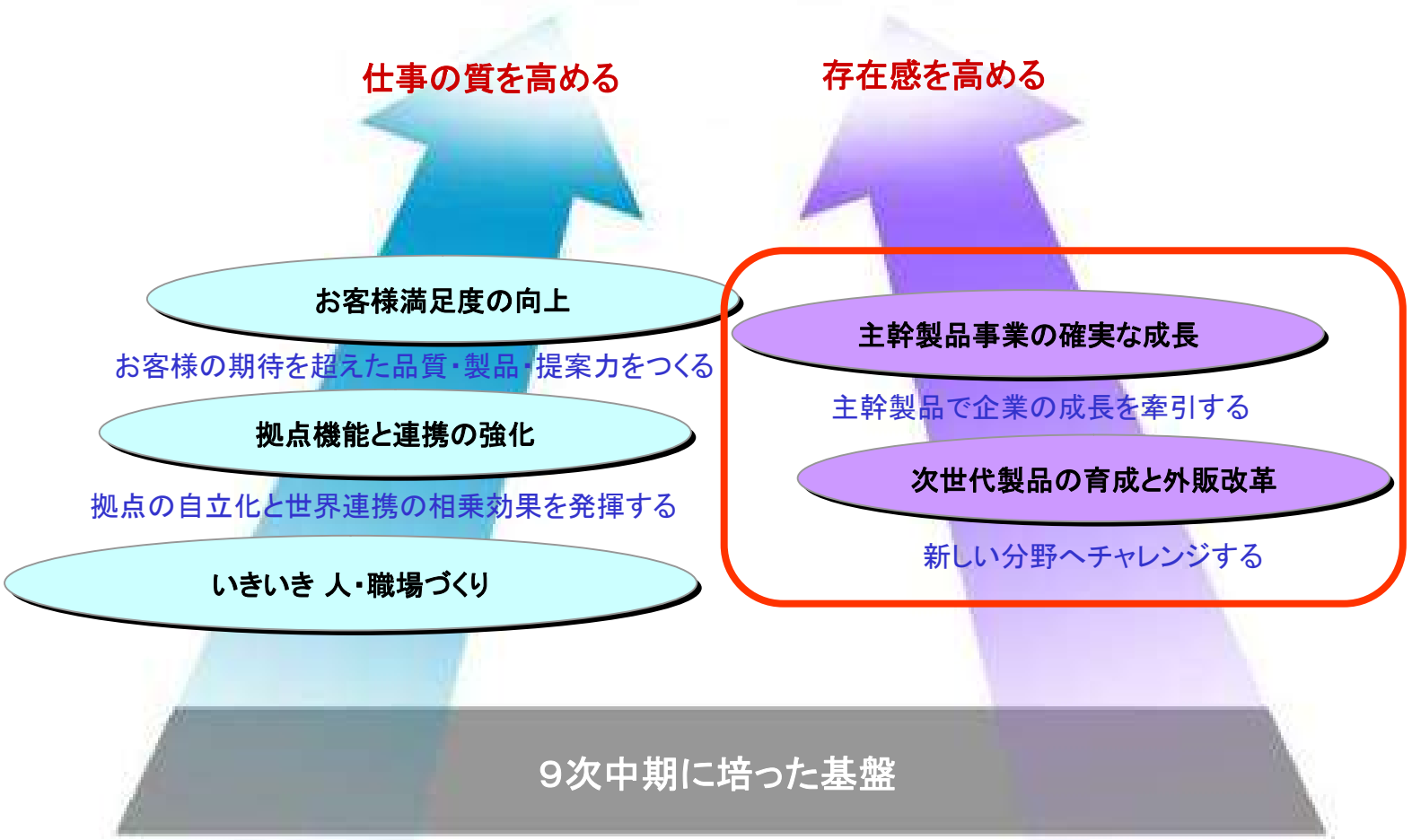
・個の成長＝企業の価値向上

・Yutaka　Powerを最大限に活かし競争力ある
企業を目指す



10次中期戦略（2008-2010年度）

- 世界の各地域において、他社をリードする競争優位性を持つ
- 培ってきた基盤を最大限に活かし、世界各地でお客さまに貢献する



Honda最新機種Yutaka部品展開

ハイブリッドカー　CR-Z搭載



エキパイ・サイレンサー
INSIGHTのノウハウを活かし軽量化。
スポーティーなエキゾーストサウンドを実現。



キャタコンバータ
INSIGHTのノウハウを活かし高効率、
高耐熱化を図り排気ガス性能のクリーン化に貢献。

デュアルマスフライホイール
ハイブリッドカー初のスポーツタイプに要求
される高回転に対応。
低燃費と高回転の両立に貢献。





トルクコンバータ
特性の最適化により実車走行性能向上。
LC領域拡大による燃費向上に寄与。



キャタコンバータ
蓄積した技術でシリンダーブロック
直下2BEDコンバータの高耐熱化を実現。



エキパイ・サイレンサー
低床フラットフロアに対応するため限られた
レイアウトで排気音を低減し静粛性に貢献。

販売好調STEP WGN搭載

成長市場インドでの生産体制の構築

インド(YAI)における排気一貫システム生産展開
～お客様の市場展開にも対応可能な現地生産体制を構築～



JAZZ



キャタコンバータ(JAZZ/FIT)
FITで蓄積したノウハウを活用し
インドでの現調部品拡大
とコスト低減に貢献



排気一貫システム現地生産
今後の新機種展開として
QCDの優位性を図るため
コンバータからサイレンサー
現地一貫生産体制を構築

二輪車市場800万台のインドで
お客様の生産能力拡大に対応



CB Twister
低燃費で取り回しの良い110cc二輪車



HMSI様生産機種CB Twister向け
Brake Disc供給



Yutaka Autoparts India Private Ltd.(YAI)

設立日　:2007.3月
従業員数:86名

主要取引先:
HSCI(四輪)
HMSI(二輪)
HHML(二輪)



生産品目(能力):

排気部品(370/2shift)

二輪 BRAKE DISC(1800/2shift)


YUTAKA
Clean for the Future